

< 第 1 回東岡崎駅交通結節点整備検討会会議録 >

日 時 平成 18 年 7 月 7 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 48

会 場 岡崎市役所 8 階 806 号室

出席者 松本名城大学助教授、

伊藤東岡崎駅周辺整備研究懇談会職務代理・明大寺本町総代、田部上明大寺町総代、

高橋名古屋鉄道株式会社不動産事業本部開発事業部課長補佐、

中村名鉄バス株式会社管理部管理第 3 課長

河合愛知県タクシー協会岡崎支部長・名鉄岡崎タクシー株式会社取締役社長

大野愛知県岡崎警察署交通係長、青木愛知県西三河建設事務所建設第一課長

川嶋岡崎市助役、太田企画政策部長、三浦都市整備部長

都市計画課：三上次長、山崎班長、香村主任主査、林主任主査、村井主査

商工労政課：石川班長

企画調整課：齋藤課長、初井班長、松田主任主査、加藤事務員

概 要

典礼 齋藤課長

1 あいさつ 川嶋岡崎市助役

岡崎市にはもう一つ都心地区として中心市街地の康生地区があるが、この東岡崎駅周辺の整備も、これと並んで本市のまちづくりにおける最重要課題になっている。昨年度までに地元の総代様、また、商店街の代表の皆様方に集まっていただき、この地区をどうしたらいいか、どういうまちづくりができるかについて、いろいろ御検討いただいたという経緯がある。

また、名古屋鉄道からも東岡崎駅ビルの再開発を非常に重要な課題として位置づけてもらっており、これから大きく動き出そうとしていると聞いている。市としても、まず駅ビルの再開発に伴って必然的に生じてくる交通の問題、あるいは結節点の問題といったようなものを第一の課題として今年度取り組んでいきたいと考えており、本検討会を設立したということである。

駅周辺の交通計画がより良いものとなるように、皆様方で御議論をいただけるようお願い

したい。

2 委員紹介（自己紹介）

3 議 題

（１）会長の選任について

- ・会長：松本名城大学助教授
- ・職務代理：山田東岡崎駅周辺整備研究懇談会座長・三島学区総代会長

（会長あいさつ）

駅の整備は様々な面で重要だとは思っているが、まず駅というのは、その市の玄関であると思っている。例えば東岡崎では1日約4万人弱もの利用があり、これは小さな市の人口に匹敵するぐらいの数である。

それからもう一つは、一度整備すると20年、30年は残るということである。実は、この長期間の間に我々のライフスタイルあるいは価値観というのは当然変わってくる。とは言いながら、その長い間ずっと市民に愛されるような、喜ばれるような、そんな駅を考えていかなければならない。皆様方には、長期的な視点、全市民的な視点、そういったものをどこか頭の片隅に置きながら、この委員会での御検討に御参加いただければと思っている。

（２）説明

- ・検討会の概要（企画調整課） 資料1

資料の内容を説明

- ・整備事業の検討フロー（企画調整課） 資料2

資料の内容を説明

- ・東岡崎駅周辺整備のこれまでの経緯（企画調整課） 資料3

資料の内容を説明

・東岡崎駅周辺整備研究懇談会の経緯（企画調整課） 資料5

資料の内容を説明（会長の指示により資料5を先に説明）

・東岡崎駅周辺の状況（都市計画課） 資料4

資料の内容を説明

・懇談会に提出された3案について（都市計画課） 資料6

それでは、資料6の3案について御説明させていただきます。

A、B、C案の3案は、今年の東岡崎駅周辺整備研究懇談会の中で岡崎市の考えを図面として示してほしいとの意見があり、名鉄や地元の皆様の同意を得た絵ではない。市の素々案である。

初めに、現況及び課題について御説明する。

現在の駅広場が狭く、新たな用地を確保する必要がある。駅ビルは昭和33年に建築し、老朽化している状況にある。駅周辺の交通は、駅前広場が狭く、バス、タクシー、自家用車等が輻輳し、渋滞している状況であり、また、自動車、歩行者の動線の確保とバリアフリー対策が行われていない等々の課題がある。

それでは、整備3案を説明させていただきます。

整備3案は、バス、タクシー、自家用車が交差せず、スムーズに出入りできる広場とアクセス道路を検討し、道路計画については、岡崎一色線や明代橋の交通混雑を緩和するため、バスの一方通行化を図り、定時性の確保と混雑緩和を検討した。また、広場機能を考慮し、3案ともにバス、タクシー、一般車両を分離するための用地を確保することを検討させていただいた。

A案は、これは、現在の駅ビルが残った場合を想定した案で、バス、タクシー、一般車両の出入りをそれぞれ設置し、バスは現況と同様でスイッチバック式で、用地の協力をいただき、一般車両の専用広場を設置したものである。

次のB案は、駅ビルを南口に計画した場合を想定した案である。バス渋滞の要因の一つであるスイッチバック式を解消し、広場内で回転方式をとり、バス、タクシーの出入り口は同じで、

一般車両を分離した。また、ペDESTリアンデッキによる歩行者動線を確保し、その機能確保のために岡崎一色線を南にシフトした。

次のC案は、駅ビルを北口で、今と違う位置で計画した場合を想定した案で、2階建てを計画し、バスは平面、2階にタクシー、一般車両を配置し、歩行者動線を検討した案である。

(3) 意見交換

(会長) 3案の提案について概要を説明してもらったが、もう少し詳しい点も聞きたい等、御意見あるいは御質問等があったら願います。

(市) 補足的に説明するが、A、B、C案というのは、先ほど言ったように素案の素案であるので、これをベースに、例えばAとBの組み合わせとか、BとCの組み合わせといったような考え方も成立し得るということであるので、余り固定的に考えないでいただきたい。

多分その中でポイントになるのは、名鉄の駅ビルが今のままのところに建つのか、あるいは少し場所を変えて北側か南側かというようなことであるとか、歩行者の動線を平面のままに置いておくのか、もしも橋上駅化ということになれば、ペDESTリアンデッキみたいなものからやるのかとか、その場合にその受け手がどうなるのかといったようなことではないかと思う。

それから、バスターミナルの形についての考え方である。出入り口が一緒にぐるっと回るのか、それとも中を流すようにいくのかといったような着眼点で、それぞれについて、建物の位置はこれ、ペDESTリアンはあった方がいい、でも、バスの流れはこうだというようなとらえ方をしていただくと、よりよい案ができていくのかと思う。

それともう一点。例えば駅ビルがどういう計画になるかわからないが、駅前広場に人の動線みたいなものを考えたときに、そこに商店が出店されれば、人の動線に乗って賑わいも出るのではないかと思う。これは地元の懇談会での検討となるかと思うが、地元の商店の皆さんが、この駅前広場をどうごらんになるかというのは非常に重要なことと思う。

それにあわせて、この3案とも周辺の道路整備の案も一部入っている。具体的な道路の形状等はまだまだこれからだとは思いますが、概ねこの辺りを通した方が良くも思っているの、そうなる、関係する地権者の御意向もかなり左右するものになってくるとも思う。

(会長) 各3案それぞれパーツごとに考えてもらえば良いということで、それぞれのパーツについて御意見いただければと思う。

それから、駅前広場とか拡幅の件に関しましては、地元の方々の御意見等がもしわかれば教

えていただきたいと思う。

(委員) 懇談会には商店街の関係理事長あたりは出席しており、この東岡崎周辺整備のことについても認識している。この2～3日のうちに役員会もやる予定になっているので、そこで私は説明させていただこうと思っているが、何分、地元がしっかりしないといけないと思っているので、色々と御迷惑かけるかと思うが、地域に状況等を話していきたいと、総代としては思っている。

(会長) 事務局として説明はどうか。

(事務局) 地元の方には、回覧板等での情報提供、あるいは必要があれば地元の説明会等に出っていくことはやぶさかではないので、そういった要望をお聞きしながら、皆さん方から理解されるような整備計画にしたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

(会長) ぜひ地元の方々の御協力はお願いしたいと思っている。他にご意見はないか。

(委員) 明代橋と殿橋間の道路は今一方通行であるのを、交互交通にしようという形の中で、橋のたもとについては、当然交差点の形状を変えなければならない。そうしたときに、現在の橋の形態の中で右折車線を設けていくことは、多分不可能だろうという感じも思うわけであり、歩道の幅員の狭い部分も含めて、橋の計画はこういったものも抜本的に考えていかなければならないという思いがする。

(会長) 当然その辺の構造も考えていかなければならないが、この検討会で、構造変更ができるのかできないかまで検討する必要があるのかどうか。

(市) 案だが、やはり詳細までになるとなかなか難しいのではないかと思う。ただ、これについては県ともよく協議させていただき、前向きに極力早く可能なものを選択したいと考えている。

(事務局) できれば基本的な方針をこの場で確認して、個々の細かい事案については、それぞれの担当部局ごとにオーソライズしながらやれるような案をつくりたいということで御協力をお願いしたい。

(委員) 現状の道路だと、自家用車でもすりかえがスムーズにいかないところでバスの本数が更に増加すると、今以上に非常に危険な状態になる。これからずっと現状のままバス路線を通していくのか、拡幅するのか。そういう駅周辺のところも、特にこれから整備していかないといけないのではと思うのだがどうか。

(会長) 事務局の考えはどうか。

(事務局) バスについては、当然今回のこの会議の中に委員として入っていただいております。

交通政策も私ども企画調整課がやっている。そうした中で、やはりバス路線の充実、自動車交通からバス交通へのシフトということも、私どもの基本的な考え方として、今年度整理できたという方向で考えている。

(市) バスとか車が1点に集中して非常に混雑しているという状況を踏まえて、このA案、B案、C案とも1本新しい道路をつけている。これがどういう狙いかというと、バスと自家用車を分離することにより分散導入が図れるわけである。それにより、駅前の交通が若干整理されるだろうという意図を持っていて、先程ご意見のあった点を解消するためにも、この新しい道路は非常に重要になってくると思う。

(会長) スイッチバックあるいはロータリー、あるいは並行でバスターミナルがそれぞれ考えられているが、現状のピーク時間帯のバス台数を処理するのにどれも十分であるということか。

(市) 現状が時間を合わせて、さっと一斉に引いて出ていくというやり方でやっている。それに比べると流れは全部スムーズになっているので、容量的には上がっているのではないかなという気はする。

(市) バースの数が現状よりも減っている。今確かバスは8線は確保していることで良いか。

(事務局) 現況でいくと8台分である。計画案においては、その台数分は確保するように案として提案はしてある。

(会長) バスの部分に限って言うと、どれが望ましいとか、あるいはこれからこういう方向が良いのではとか何か意見はあるか。

(委員) バスのことだけで言えば、バス専用の出入り口になっているC案が良いと思う。ただ、これを見ると6バースに見える。バースは確保されていると言われたが、その辺りはどうか。

(事務局) 少し補足説明する。A案では、バスターミナルでは7バース。残り1バースについては臨時バスといったものが8バース目という形態が今のターミナルの中で見られるので、路線的に使うのは7バースという形である。

それから、B案の方が同じく7バースで、島の中に2バースあるが、これは待機用のバースの位置という形で7バースとしている。

C案の方が、今9バース載っているが、駅周辺で観光バス等の乗り降りもあるので、少しゆとりを持って9バースといった形にしている。

(会長) 現状で問題ないという理解で良いか。バスのブース数は将来的にはどうか。多分本

数にも関係してくると思うが。

(委員) 路線数、本数については、このあたりの人口等の減少傾向が上昇に転ずれば増えることもあるかもしれないが、当面横ばいかと思う。

(会長) 将来のそういう方向が見えてこない限りは現状で考えて、ともすれば減少もあり得るということか。

(事務局) 多分バスを含めた総合交通については、市としても重要課題であるので、今年は総合交通計画の策定に向けて、また並行して検討は進めさせていただきたいと思っている。

(会長) 岡崎市は非常にバスが充実している町であり、これを失うのは非常に痛手となる。もっと育てていくというのは非常に重要だと思っている。

それでは、駅ビルの件の話をもし名鉄の方で何か動向等があったらお教えいただきたい。

(委員) 具体的に申し上げるまでのことはない。当然今の現状が決して素晴らしいものではないと重々承知しており、過去何度か検討に挙がっているのも事実である。

今回のこの会議がある意義だが、周辺交通、周辺整備、周辺人口も含めてすべて連動するものであるので、当然当社のバリアフリー化に関連してくるが、それを具体的に一番よりよいものをつくるのが今回の意義かなというところで、決まれば早くやりたいというのは当然思っている。

(会長) 具体的な話はないとしても、例えば南側だったらとか、個人的な意見でもよいので何かないか。

(委員) 個人的ということで、現状バリアフリーが一番課題になっており、他にも同様の駅もあるが、現状地下駅から階段でホームに上がるという方法が、非常にバリアフリーにとってやりにくい形状になっている。他の駅で橋上駅等で地下からエレベーターで上がる駅もあるが、ある種ゼロベースで今検討はしているので、お時間いただければというところである。バリアフリーについては10年、20年待てるかという問題でもないもので、早急に解決しなければならない問題とは認識している。

(会長) イメージ的にはセントレアの乗りかえは非常にスムーズで、あのようなスムーズな乗りかえが実現できると良いと思う。鉄道から飛行機だが、鉄道からバス、鉄道からタクシーといったものが非常にバリアフリーで乗りかえができると良いと思う。自家用車に関しては位置づけがそれぞれあってということだと思う。

(委員) 事務局の方に伺いたい。タクシーの待機車両数は、A、B、C案は現状確保されているのか伺いたい。

(事務局) A案、B案、C案についても、タクシーの数については特段今限定した数にはしていない。というのは、どれだけの敷地がタクシー用のエリアとしてとれるかというのが特定できていないので、ここに表記してあるのは、升を切って、これぐらいは入るかなという程度でしか検討していない。

(委員) 今申し上げたように、少なくとも今の数だけということは私どもの要望であるので、よろしく願いたい。

(会長) 実際運用上、タクシープールは現状で足りないという感覚はないという感じなのか。

(委員) そうである。

(会長) タクシー専用のブースになっているが、C案は一般車、B案はバスと出入り口を共有ということで、それぞれどのように感じるか。

(委員) B案が一番好ましいと思います。

(会長) バスと出入り口を共有するというのはどうか。何か大きな問題とかあるか。

(委員) 豊橋は一般車とタクシーは一緒になっており、バスは確か分かれていると思う。

(会長) 特にどちらでも非常に大きな問題が生じるようなことはないという感じか。

(委員) 今のところは余りよく分からないので、また同業の会で検討させていただく。

(会長) タクシーと出入り口を共有することについて、バスの立場から見てどうか。

(委員) 先ほども言っているが、専用のC案がもちろん望ましい。やはり車の大きさが全く違うので、同じところを使うというのはいいか。車の動きも違うし、C案が一番私どもにとってはありがたい。

(会長) 他に何かないか。

(委員) 交通管理者の立場から一言。私は、このB案が一番最良かと思う。歩行者と車がきちんと分離されていて危険性がないことが一目で分かるからである。これから高齢化社会になっていくが、それについても一般車両とバスとタクシーと、運転手さんにとっても完全に分離されているので、分かりやすく戸惑いもないのかなと思う。

ただ、歩行者の方をみんな上に上げる形になっているので、バリアフリーについて、どういう考えを持っているのかということに疑問を感じる。

あと、信号交差点がこの図面を見ても二つ増えるが、この信号間の距離が短いので、きちんとさばき切れるのかなということが少し懸念されると思う。

(会長) 2件(課題が)上がったが、歩車分離が非常に望ましいが橋上になってバリアフリー対策がどうかということと、信号処理についてである。もし事務局で御検討されていれば説

明をお願いする。

(事務局) A案、B案、C案ともバリアフリー化という形には重きを置いており、特にB案について、東西に走る一色線のところは横断歩道を設置せずに、エスカレーターもしくはエレベーターを設置しながら人の動線を確保したいと考えている。

C案については、できる限り信号を、今五叉路になっているところを四叉路に変えるとか、交通の形を整えたい。

それから、もう一つ御指摘のあった信号間の距離が短いことであるが、川沿いの道路、西から東に向かってくるところの右折を直進と左折のみという形に形態を変えており、少しでも流入してくる交通を分散したいといった計画になっている。

明代橋の交差点のところは、先ほど現況でも示したとおり、歩行者がかなり集まってくる交差点であるので、できればスクランブル交差点という形で、歩行者と自転車とか、自動車もクロスするところを無くす方向で検討できたらという形で書いている。

(市) 今の話で、最初にB案が良いのではという御指摘をいただいたが、C案も実は、地上部、上層部と2層で計画している。何が違うかということ、要はペDESTリアンデッキの広がり、B案だとモダン通りの方に延ばすことが可能なのである。通りを越えてから下りるため、道路を若干南にシフトさせている訳である。それにより下りる場所を確保しているが、C案はバスターミナルを大きくとっている関係もあり南に振れないため、今のままだと、この通りの北側に下ろせないことになる。若干追加で用地買収とかさせていただかないと下ろせないため、北向きの動線がちょっと弱いという違いがあるかと思う。

それと信号処理については、今のいろいろな右折禁止にする等の方策に加えて、若干連動させることによって処理をスムーズにすることはできないのか。比較的短いところでも結構、現実あると思うので、何とかできるのではないかと。

(委員) まさにそのとおりで、岡崎署の前の三つの信号機が国道248号という大交通量をきちんとさばいているので、そういう面から考えてみれば、今三つ重なっているが、可能ではないかと思う。ただ、歩行者の数が全然違うので、どのような捌き方をするか、十分に検討してからでないといけないので、これはお答えできない。

(会長) 駅前には自転車の事故が多いところである。どこでもそうだと思うが、動線をしっかり考えておかないと非常に危ないと思う。

(委員) 先ほどの資料4の中で、県道の部分の明代橋から駅までに通じる歩道が狭いということで、5ページにも写真が入っており、確かに窮屈な状況があり、駅前の広々とした感覚が

乏しいような気がする。やはり歩道空間が少ないということだと思う。

今この部分については、都市計画決定は2車線だと思うが、駅前の空間を広げるという中の都市計画変更もイメージした形でこれからやっていくのか。どこまでを駅前広場のような環境整備を整えていくか。

この3案とも駅前については現状の幅の中の絵である。これでは狭い歩行空間は解消されないというか、どういうところまでレベルアップした形を望んでいくのかというのはあると思う。

(市) これは非常に微妙な問題かと思うが、一応ここでの最優先は駅前の交通結節点ということで、このA案、B案、C案はそういうことで出している。ただ、地元の皆さんの御意向も非常に重要な話になってくるが、できれば駅前を核にして新しいまちづくりが広がってほしいという思いを実は持っているわけである。例えばの話だが、駅前で再開発みたいなことも考えようじゃないかというような話が起ってこれば、その中で都市計画道路を拡幅しながら、もう少し高度利用していくといったことも現実味が出てくると思う。

ただ、それを一緒にやってしまうと、そちらに引っ張られて全然動かなくなることを心配するため、まず我々は交通結節点、交通計画にまず重点を置いて検討会をお願いしたいと思うわけである。ただ、それで十分だと思っているわけでは決してない。

(委員) 面開発というか、面整備と一体になってやっていくということか。

(市) それが恐らく理想的な姿だと思う。ただ、現実的にはいろいろ利害関係者の方も見えるし、地権者の御意向もあるし、それを一緒にやってしまうと、全部が止まってしまう可能性もあるわけである。非常に微妙なところでこういうことをやらせていただいたということを御理解いただければと思う。

(会長) 逆に、駅再開発が面整備あるいは中心市街地の活性化、あるいは岡崎全体のまちづくりの起爆剤になるという場合もあり得るということか。

(市) ぜひそういうことを期待したいと思う。

(委員) 駅ビルの改築についてだが、これは名鉄の意向もあると思うが、駅ビルの中に市の出先機関を設置すると良いかなということを懇談会で話したのだが、市はどれぐらい関与できるのか。

(事務局) 駅ビルをどうするかは、まず名鉄の意向が重要だと思う。当然玄関口であり、市としてそこにフロアを借りて何かやることについても当然前向きに検討させていただきたいと思うし、名鉄がいろいろ具体的な検討をされる段階で我々としても考えていきたいと思っている。

よその街の例を見ると、岐阜駅に連続立体交差があるが、あの下は市の施設とか図書館が入って、大変高度利用しているところもある。そういう所を見ると、やはり我々としても、駅は市民の通過することが多い場所であり、公共機関を持っていくには良い立地だとは思う。

(委員) 色々な市民の声も取り入れる必要もあると思うが、多種多様な機関を設置してもらうと利便性があるという気もする。

それから、もう一つ聞くが、駅ビルが軌道をまたぎ、下駄履きみたいな感じで建築するというのは可能か。

(委員) 名駅もそうだが、地上という理解でよろしいか。自由連絡通路の形式は豊橋も含めてよくあるが、それは一般的な形状で豊橋も線路の上にはない。

(市) 岐阜はどうか。今度建てかえられると思うがあれは違うのか。

(委員) あれは終点の横に建て増したというか、もう取り壊されている。

(会長) 何かそういう構造になることに多少問題はありますか。

(委員) 今の北口は面積が狭いので、それを広げるには、やはり軌道をまたいで南口の方までやった方が良くはないか。そうすると北口が広がる。

(会長) 先ほどあったように、A案、B案、C案がただき台というわけではなく、素案の素案ということで、それぞれのパーツで考えてもらっても良いと思う。

(委員) これは去年もやったので、大体地元の人も知っていると思う。

(市) 今地元の方も知ってみえるという中で、いろいろ駅前広場を東に拡大したり、今現在そういう絵になっていることはお分かりいただけているかと思う。

(市) 実はもう一つ気になっているのだが、この周辺には良木が川沿いにたくさん植わっている。ちょうど交差点のところにも立派な松の木があり、このままの絵だと道路整備にかかっているが、そのあたりで何か地元から声が出ているということはないか。

(委員) 近々、長老者の人にどういう経緯でああいうものが植えてあるのかということを知りたい。いろいろ尋ねてみようかとは思っている。かなり長老者が少なくなってきたので、知ってみえる方がいるかどうか。

(会長) 完全に切らないと不可能という感じなのか。

(市) このままだと多分難しいと思う。移植の努力はできればしたいが、費用もかかるし、移植後どうなるかということもあるので、正直いって結構悩んでいるところである。

(会長) 他に意見はないか。

(委員) そもそもこのプロジェクトの事業主体はどのようになっているのか。実際に投資を

する事業者は。

(事務局) 駅前広場整備は市になるかと思う。ビルの建てかえについては当然名鉄の方になるので、若干そこで調整事項は出てくるかもしれない。

(委員) 駅広場というと、例えばバス、タクシーあたりはどちらに入るのか。

(市) バス、タクシーは駅前広場なので、基本的に市になると思う。

(会長) 歩車分離時は、エスカレーターを是非つけていただきたいが、エスカレーターと階段、エレベーター、その辺は十分つくぐらいの幅員とかはあるということか。まだそこまでは検討していないということか。

(事務局) イメージ的には、この中に入るぐらいの幅員を考えたらよいのだが。ただ、どれぐらいの規模かは全然検討していないので、できる限り広く歩道をとっているところに設置をしていきたいという感じである。

(会長) 豊田もそうであるし、仙台なんかもこのようなペDESTRIANデッキで、その後バスターミナルへ行くという感じだが、やはりバリアフリーが進んでなくて結構つらいのが現状である。ヨーロッパの町に行くと、どこでも必ずエスカレーター、雨が当たるところでも必ずエスカレーターがあるので、維持管理費は問題だが、そういうのをぜひ実現していただきたいと思っている。

7ページを見ると、東岡崎はパークアンドライドよりもキスアンドライドが多いということである。恐らく想像するに、雨の日になると、自転車あるいは徒歩の人もキスアンドライドで来るので、これ以上に増加してくることが考えられる。もちろんタクシー等も考えないといけませんが、一般車の送迎の場所をつくった場合、その辺の交通の流れがどうなるかというのを検討する必要があるのかなと思う。

大分時間も来たが、何か他にあればお聞きしたいと思う。

(委員) この駅舎周辺についてもだが、それとあわせて周辺の整備も考えてみえるということだが、どの辺の地域までを考えているのか。

(市) 先ほど周辺整備と言ったのは、具体的にどこそこをという話ではなくて、再開発の話とか先ほど出たときに、あれは地元の皆さんがそれでいこうという話が出てこないと、なかなか具体的にこれから話を進めていくのは難しいので、一応我々が期待することとして申し上げたということである。

ただ、そうは言っても、そういうことも含めて、先ほど冒頭の周辺地区の明大寺、殿橋、吹矢橋あたりまで広げて現状の分析と申したが、そういう視野を持ってこの場所を考えていこう

ということである。少なくとも、ただ駅前広場以外では、先ほどあった北側の東西方向の道路と、駅前広場に突っ込んでくる東側の南北方向あたりは具体的に詰めていかなければいけないかなと思っている。あとは皆様方の議論の広がりを期待させていただきたいということである。

(委員) せっかく駅舎が良くなって玄関口が立派になる。それに伴って周りが余りにも貧弱では、やった価値がないというようなことになる。

(市) ぜひ地元からそういう雰囲気盛り上げていただけると非常にありがたい。

(委員) 先ほど先生が言われたように、緑が非常に少ないということになれば、河川敷をもう少し整備して、前市長がリバーフロントとか言っていた河川敷に人が集まれるような格好のものとか、そういうようなこともやってもらえるといいかなと思う。それこそ川で子供が遊べるような地域をつくってもいいのではないかな。

(会長) ちなみに旭川が今駅再開発をしているが、駅の裏に川があり、その緑をそのまま駅につなげるという構想で整備されている。

それからもう一つは、今回もしペDESTリアンデッキみたいなことを考えられると、駅前のビルにそのままつなげていく、あるいは空中回廊をつくるということも考えられると思う。ぜひそういうのを地元の方々から、この機会にやろうと出てくれば、これはまさに岡崎全市民にとっていい駅や駅前になるという気がしている。少なくともこの検討会でそこは検討しないということだが、ぜひ地元の方は、そういう気持ちで取り組んでいただければと思っている。

時間もきたので、最後に1点皆様にお諮りしたいことがある。

今回は公開ではなかったということかもしれないが、次回以降、市民の皆様にご公開してこの会議を進めていきたいと思っているが、いかがなものか。もし御意見があったらお伺いしたい。

よろしいか。では、次回以降は一応公開ということで進めていきたいと思う。もちろん個人的な利害関係にふれるようなところがあった場合には、そのときはクローズさせていただく。

それでは、議事進行を事務局にお返す。どうもありがとうございました。

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・複数の候補日について、各委員の都合を聞いた。日時、会場は後日事務局から連絡することとなった。